

KACHIEL セミナー
2024 年 11 月 1 日

個人の国際税務

税理士 阿部行輝

目 次

個人の国際税務

1. 居住形態と課税所得の範囲

Q 1	個人の納税義務者の区分	1
Q 2	住所及び居所の定義	2
Q 3	住所の推定	3
Q 4	居住形態判定における特例	5
Q 5	期間計算の方法	7
Q 6	非永住者期間の計算方法	8
Q 7	居住形態等に関する確認書	9
Q 8	課税所得の範囲	10
Q 9	国内において支払われたものの意義	11
Q 10	送金の意義	13
Q 11	非永住者に国内への送金があった場合の課税所得の範囲（基本的考え方）	14
Q 12	非永住者の課税所得の範囲	16
Q 13	非永住者の課税所得の範囲に関する改正点	17
Q 14	米国子会社に出向して一時帰国した社員の課税関係	19
Q 15	長期滞在の予定が短期滞在となった外国人派遣社員の居住形態	21
Q 16	短期滞在の予定が長期滞在となった外国人派遣社員の居住形態	23

2. 非居住者の課税方法

Q 17	非居住者の課税関係	24
Q 18	国内源泉所得の範囲	25

3. 租税条約

Q 19	租税条約の役割と適用対象者	27
------	---------------	----

4. 利子所得

Q 20	利子所得の課税方法	28
------	-----------	----

5. 配当所得

Q 21	配当所得の課税方法	30
Q 22	海外の利子所得・配当所得の申告要否	32
Q 23	海外の配当所得を修正申告において分離課税で申告することの可否	33

6. 不動産所得

Q 24	不動産所得の課税方法	34
Q 25	年の途中で居住形態が変わった場合の不動産所得の課税方法	35
Q 26	国外賃貸不動産がある場合の確定申告の要否と申告書の書き方	36

Q27	国外中古建物の不動産所得に係る損益通算	39
7. 給与所得		
Q28	給与所得の課税方法	41
Q29	外国親会社から受け取る株式報酬① ストック・オプション	43
Q30	外国親会社から受け取る株式報酬② リストリクテッド・ストック	45
Q31	外国親会社から受け取る株式報酬③ リストリクテッド・ストック・ユニット	47
Q32	外国親会社から受け取る株式報酬④ エンployee・ストック・パースェイス・プラン	49
Q33	外国親会社等が発行する経済的利益に関する調書	51
Q34	リストリクテッド・ストックを受け取った場合の申告書の書き方	52
Q35	居住者期間中に権利付与されたストック・オプションを非居住者期間中に 権利行使した場合	55
Q36	年の途中で帰国した給与所得者の課税関係	57
Q37	年の途中で出国した給与所得者の課税関係	58
Q38	出国時における給与の源泉徴収	59
Q39	入国時における給与の源泉徴収	62
Q40	海外支店に出向している社員に支払われる給与の一部支給	64
Q41	準確定申告(172条申告)	65
Q42	みなし国内払い	66
Q43	準確定申告書(172条申告書)の書き方	67
Q44	帰国後の会社負担の税金(親子間会社の場合/172条申告)	69
Q45	短期滞在者免税	70
Q46	短期滞在者免税における滞在日数の計算方法	72
Q47	短期滞在者免税における滞在期間183日以内の判定	73
Q48	居住者期間を有する非居住者の短期滞在者免税の適用	77
Q49	フィリピンの研修生に対する研修手当	79
Q50	中国人の学生アルバイトのバイト代	82
Q51	中国人の学生アルバイトの還付請求	84
8. 退職所得		
Q52	退職所得の選択課税の確定申告書の書き方(非居住者が受け取る退職金)	87
9. 譲渡所得(不動産)		
Q53	不動産を譲渡した場合の課税関係	92
10. 譲渡所得(株式)		
Q54	株式を譲渡した場合の課税関係	93
Q55	外国の利子、配当、株式譲渡益の課税関係～海外の金融業者と直接取引 した場合	95

Q56 国内と国外の証券口座で生じた上場株式等の譲渡損益、配当、利子の 損益通算	97
11. 雑所得	
Q57 海外の金融業者を通じて行った外国為替証拠金取引（FX取引）	99
12. 所得控除	
Q58 居住者期間と非居住者期間がある場合の所得控除	100
13. 税額控除	
Q59 租税条約の限度税率を超えた場合の外国税額控除	101
Q60 日米租税条約における外国税額控除	102
Q61 非永住者に係る外国税額控除	104
14. 申告及び納付	
Q62 外国親会社から受け取る株式報酬の申告義務	105
15. 外貨建取引を行った場合の円換算	
Q63 円換算の基本的取扱い	106
Q64 採用する円換算レートによる影響	109
16. 外貨建取引における為替差損益	
Q65 外貨建取引における為替差損益の取扱い	110

(注) 本レジュメは、令和6年7月1日現在の法令、通達によっています。

個人の国際税務

1 居住形態と課税所得の範囲

Q1 個人の納税義務者の区分

Q 所得税法上、個人の納税義務者はどのように定められているのでしょうか。

Q 2 住所及び居所の定義

Q 住所及び居所の定義について教えてください。

1. 住所及び居所の定義について教えてください。

住所及び居所の定義について教えてください。

住所及び居所の定義について教えてください。

Q 3 住所の推定

Q 住所の推定について教えてください。

1. 住所の推定とは、本人の住所が不明な場合、その住所を推定することである。

2. 住所の推定は、本人の住所が不明な場合、その住所を推定することである。

3. 住所の推定は、本人の住所が不明な場合、その住所を推定することである。

4. 住所の推定は、本人の住所が不明な場合、その住所を推定することである。

5. 住所の推定は、本人の住所が不明な場合、その住所を推定することである。

6. 住所の推定は、本人の住所が不明な場合、その住所を推定することである。

7. 住所の推定は、本人の住所が不明な場合、その住所を推定することである。

8. 住所の推定は、本人の住所が不明な場合、その住所を推定することである。

9. 住所の推定は、本人の住所が不明な場合、その住所を推定することである。

10. 住所の推定は、本人の住所が不明な場合、その住所を推定することである。

11. 住所の推定は、本人の住所が不明な場合、その住所を推定することである。

12. 住所の推定は、本人の住所が不明な場合、その住所を推定することである。

13. 住所の推定は、本人の住所が不明な場合、その住所を推定することである。

14. 住所の推定は、本人の住所が不明な場合、その住所を推定することである。

1. **Introduction**
The purpose of this study is to investigate the effects of the proposed system on the performance of the participants. The study was conducted in a laboratory setting and involved a group of participants who were assigned to two different conditions: a control group and an experimental group. The control group used a traditional method, while the experimental group used the proposed system. The results of the study are presented in the following sections.

2. **Methodology**
The study was conducted in a laboratory setting and involved a group of participants who were assigned to two different conditions: a control group and an experimental group. The control group used a traditional method, while the experimental group used the proposed system. The results of the study are presented in the following sections.

1. The first part of the document discusses the importance of maintaining accurate records of all transactions and activities. It emphasizes that this is crucial for ensuring transparency and accountability in the organization's operations. The text also mentions that proper record-keeping helps in identifying trends and areas for improvement.

2. The second part of the document focuses on the role of the management team in setting clear goals and objectives. It states that management should communicate these goals effectively to all employees and ensure that they are aligned with the organization's overall mission and vision. This part also discusses the importance of regular communication and reporting to keep everyone on track.

3. The third part of the document addresses the need for a strong financial foundation. It highlights that a solid financial base is essential for the long-term success and sustainability of the organization. This includes maintaining a healthy balance sheet, managing cash flow effectively, and investing in growth opportunities.

4. The fourth part of the document discusses the importance of a diverse and skilled workforce. It notes that having a mix of talents and perspectives is key to innovation and problem-solving. The text also mentions the need for ongoing training and development to keep the workforce up-to-date with the latest industry trends and technologies.

5. The fifth part of the document concludes by emphasizing the importance of a positive organizational culture. It states that a culture of trust, collaboration, and high performance is essential for attracting and retaining top talent. The text also mentions that a strong culture can lead to increased productivity and better overall results for the organization.

6. The sixth part of the document discusses the importance of risk management. It notes that identifying and mitigating potential risks is crucial for protecting the organization's assets and ensuring its long-term viability. This includes conducting regular risk assessments and implementing effective risk management strategies.

7. The seventh part of the document addresses the need for a strong legal and regulatory framework. It highlights that staying up-to-date with relevant laws and regulations is essential for avoiding legal issues and ensuring compliance. This includes consulting with legal counsel and implementing robust internal controls.

8. The eighth part of the document discusses the importance of a strong customer focus. It notes that understanding and meeting customer needs is key to building a loyal customer base and driving revenue growth. This includes conducting regular customer surveys and implementing effective customer service strategies.

9. The ninth part of the document concludes by emphasizing the importance of a strong leadership team. It states that effective leadership is essential for guiding the organization through challenges and achieving its long-term goals. This includes setting a clear vision, inspiring and motivating employees, and making strategic decisions.

10. The tenth part of the document discusses the importance of a strong community presence. It notes that being an active and responsible member of the community can enhance the organization's reputation and contribute to the overall well-being of the society. This includes supporting local initiatives and engaging in corporate social responsibility activities.

Q 5 期間計算の方法

Q 居住者の定義は、「国内に住所を有し、又は現在まで引き続いて1年以上居所を有する個人」とされており、また、非永住者の定義は、「居住者のうち、日本の国籍を有しておらず、かつ、過去10年以内において国内に住所又は居所を有していた期間の合計が5年以下である個人」とされています。年数のカウントは、どのように行ったらよいのでしょうか。

Q 6 非永住者期間の計算方法

Q 米国人Aは、次のとおり入出国があります。令和5年5月8日現在において、Aは非永住者に該当するでしょうか。

- ① 平成29年5月20日に入国、令和2年4月16日に出国
- ② 令和4年3月2日に入国、令和5年5月8日現在、日本に在留中
- ③ 過去、日本への入国はこの2回のみ

Q 8 課税所得の範囲

Q 永住者、非永住者、非居住者ごとに、課税所得はどのようなになっているのか教えてください。

この質問は、課税所得の範囲について、永住者、非永住者、非居住者ごとに説明を求めています。

この質問は、課税所得の範囲について、永住者、非永住者、非居住者ごとに説明を求めています。

居住者	非居住者
日本国内に所得を生ずるもの	日本国内に所得を生ずるもの
日本国外に所得を生ずるもの	日本国外に所得を生ずるもの

この質問は、課税所得の範囲について、永住者、非永住者、非居住者ごとに説明を求めています。

Q9 国内において支払われたものの意義

1. 国内において支払われたものの意義

2. 国内において支払われたものの意義

3. 国内において支払われたものの意義



4. 国内において支払われたものの意義



THESE ARE THE MAIN PARTS OF THE SHIP'S HULL AND DECK. THE HULL IS THE MAIN BODY OF THE SHIP, AND THE DECK IS THE FLAT SURFACE ON TOP OF THE HULL. THE SHIP'S HULL IS DIVIDED INTO SEVERAL DECKS, AND THE DECK IS DIVIDED INTO SEVERAL DECKS.

Q10 送金の意義

Q 非永住者の課税所得の範囲で、「国外源泉所得で国外から送金されたもの」とされていますが、国外から送金されたものとは、どのようなものをいうのでしょうか。

「国外源泉所得で国外から送金されたもの」とは、非永住者が国外において得た所得のうち、日本に送金されたものを指します。送金とは、現金、預金、有価証券、不動産等の権利を、非永住者が日本に送ることをいいます。送金されたものは、非永住者の課税所得に算入されます。

Q11 非永住者に国内への送金があった場合の課税所得の範囲（基本的考え方）

Q 非永住者の送金課税について、具体的な事例で説明していただけますでしょうか。



[The text in this block is extremely blurry and illegible. It appears to be a list of items or a document with multiple lines of text, possibly including a table or a series of entries. The content cannot be transcribed accurately.]

Q12 非永住者の課税所得の範囲

Q 私は米国人ですが、米国親会社から日本子会社に、2年間の契約で派遣されています。給与 20,000,000 円全額が、日本子会社から国内で支払われています。本年は海外出張が約 6 か月ありました。私の課税対象となる金額はいくらでしょうか。

Q13 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

Q 非永住者の課税所得の範囲について、最近の改正点を教えてください。

1. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

2. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

3. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

4. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

5. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

6. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

7. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

8. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

9. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

10. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

11. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

12. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

13. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

14. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

15. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

16. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

17. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

18. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

19. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

20. 非永住者の課税所得の範囲に関する改正点

QUESTION



1. The first box contains the number 100.

2. The second box contains the number 100.

3. The third box contains the number 100.

4. The fourth box contains the number 100.

5. The fifth box contains the number 100.

Q14 米国子会社に出向して一時帰国した社員の課税関係

Q 弊社の社員Aは、令和4年8月1日に、3年間の期限付きの辞令によって米国子会社に出向しました。ところが、米国子会社勤務中に病気にかかったため令和5年6月1日に日本に一時帰国し、1か月療養後体調が回復した後は、日本親会社で仕事をしています。仕事の内容は、メールやWeb会議により米国の取引先とやりとりするなど、米国子会社の仕事をしています。あと1週間で体調の様子を見て、米国子会社に戻る予定です。

日本親会社で働いている間の給与は、仕事の内容が米国子会社のものであるため、米国親会社から支給されており日本親会社から給与は支給されていません。

社員Aは、居住者あるいは非居住者のどちらとして扱われるのでしょうか。また、課税関係はどのようになるのでしょうか。

1. The first part of the document discusses the importance of maintaining accurate records of all transactions. It emphasizes that proper record-keeping is essential for ensuring the integrity and reliability of financial data. This section also outlines the various methods and tools used to collect and analyze financial information, highlighting the need for consistency and transparency in the reporting process.



Q15 長期滞在の予定が短期滞在となった外国人派遣社員の居住形態

Q 英国本店に勤務する外国人派遣社員で、英国本店との契約で3年間、日本支店に勤務する契約で来日した社員がいます。しかし、10 か月を経過した時点で体調を崩したため、途中で帰国し、その後は、英国本店で勤務することになりました。

この社員の居住形態は、どのように考えたらよいのでしょうか。

Q16 短期滞在の予定が長期滞在となった外国人派遣社員の居住形態

Q 英国本店に勤務する外国人派遣社員で、英国本店との契約で7か月間、日本支店に勤務する契約で来日した社員がいます。しかし、7か月を経過した時点で、さらに引き続き3年間、日本支店で勤務する旨の命令がなされました。

この社員の居住形態は、どのように考えたらよいのでしょうか。

2 非居住者の課税方法

Q17 非居住者の課税関係

Q 非居住者は、どのような所得に対してどのような課税のされ方をするのでしょうか。

A 非居住者は、国内源泉所得に対してのみ課税されます。課税のされ方は、非居住者が国内に恒久的施設を有するかどうか、所得の種類は何かによって異なります。

【解説】

非居住者に対する課税関係の概要は、次の表のとおりです。

所得の種類 (所法161①)	非居住者の区分 (所法164①)		恒久的施設を有する者		源泉 徴収 (所法 212① 213①)
			恒久的施設 帰属所得 (所法164①一イ)	その他の 国内源泉所得 (所法164①一ロ、②一)	
(事業所得)			【課税対象外】		無
① 資産の運用・保有により生ずる所得 (所法161①二) ※下記⑦～⑮に該当するものを除く。	【総合課税】 (所法161①一)		【総合課税(一部)(注2)】		無
② 資産の譲渡により生ずる所得 (〃 三)					無
③ 組合契約事業利益の配分 (〃 四)			【課税対象外】		20.42%
④ 土地等の譲渡対価 (〃 五)			【源泉徴収の上、総合課税】		10.21%
⑤ 人的役務の提供事業の対価 (〃 六)					20.42%
⑥ 不動産の賃貸料等 (〃 七)					20.42%
⑦ 利子等 (〃 八)			【源泉徴収の上、 総合課税】 (所法161①一)		15.35%
⑧ 配当等 (〃 九)					20.42%
⑨ 貸付金利子 (〃 十)					20.42%
⑩ 使用料等 (〃 十一)					20.42%
⑪ 給与その他の人的役務の提供に 対する報酬、公的年金等、退職手当等 (〃 十二)					20.42%
⑫ 事業の広告宣伝のための賞金 (〃 十三)					20.42%
⑬ 生命保険契約に基づく年金等 (〃 十四)					20.42%
⑭ 定期積金の給付補填金等 (〃 十五)					15.35%
⑮ 匿名組合契約等に基づく利益の分配 (〃 十六)					20.42%
⑯ その他の国内源泉所得 (〃 十七)	【総合課税】 (所法161①一)				【総合課税】

- (注) 1 恒久的施設帰属所得が、上記の表①から⑯までに掲げる国内源泉所得に重複して該当する場合があります。
- 2 上記の表②資産の譲渡により生ずる所得のうち恒久的施設帰属所得に該当する所得以外のものについては、所得税法施行令第281条第1項第1号から第8号までに掲げるもののみ課税されます。
- 3 租税特別措置法の規定により、上記の表において総合課税の対象とされる所得のうち一定のものについては、申告分離課税又は源泉分離課税の対象とされる場合があります。
- 4 租税特別措置法等の規定により、上記の表における源泉徴収税率のうち一定の所得に係るものについては、軽減又は免除される場合があります。

(出典：国税庁「令和5年版 源泉徴収のあらまし」)

Q18 国内源泉所得の範囲

Q 非居住者は、国内源泉所得に対して課税されるとのことですが、国内源泉所得とはどのようなものをいうのでしょうか。



4 利子所得

Q20 利子所得の課税方法

Q 利子所得の課税方法について、居住形態別に教えていただけますでしょうか。

The table area is extremely blurry and illegible. It appears to be a table with multiple columns and rows, possibly detailing tax rates or methods for different types of interest income based on the taxpayer's residence status. The text within the table is completely unreadable due to the low resolution and blurring.



1. Introduction
This document discusses the importance of maintaining accurate records in a business setting. It outlines the various methods used to collect and analyze data, and provides a detailed overview of the results obtained from the study. The findings indicate that there is a significant correlation between the variables being studied, and that the proposed model is a valid representation of the data.

5 配当所得

Q21 配当所得の課税方法

Q 配当所得の課税方法について、居住形態別に教えていただけますでしょうか。





Q22 海外の利子所得・配当所得の申告要否

Q 私（永住者）は会社員ですが、米国の証券会社に証券口座を保有しています。この証券口座で利子及び上場株式の配当が生じており、配当からは米国の税金が引かれています。この利子及び配当は、日本で申告する必要があるのでしょうか。

Q23 海外の配当所得を修正申告において分離課税で申告することの可否

Q 私（永住者）は国内の金融機関を介さずに、直接、国外の金融機関と取引し上場株式の配当が生じています。当初の確定申告では、この配当を申告していなかったのですが、修正申告において申告分離課税とすることはできますか。

6 不動産所得

Q24 不動産所得の課税方法

Q 不動産所得の課税方法について、居住形態別に教えていただけますでしょうか。



Q25 年の途中で居住形態が変わった場合の不動産所得の課税方法

Q 私は米国人ですが、年の途中で5年を超えて日本に居住していることになりました。米国に賃貸不動産を所有していますが、居住形態が非永住者から永住者になった場合の不動産所得の申告はどのようにしたらよいのでしょうか。なお、不動産収入は、米国の口座に振り込まれ日本への送金はありません。

Q26 国外賃貸不動産がある場合の確定申告の要否と申告書の書き方

Q 私（永住者）は、会社からの給与収入（年末調整済み）のほかに、米国に賃貸マンションを所有しています。この賃貸マンションからの収入は、日本で確定申告を行う必要があるのでしょうか。また、申告が必要ならば、申告書の書き方を教えていただけますか。

The following table shows the results of the experiment. The data is presented in a table format with columns for the different conditions and rows for the different variables. The table is divided into two main sections: the first section shows the results for the first set of conditions, and the second section shows the results for the second set of conditions. The data is presented in a table format with columns for the different conditions and rows for the different variables.

Condition	Variable 1	Variable 2	Variable 3
Condition 1	1.2	2.5	3.8
Condition 2	1.5	2.8	4.1
Condition 3	1.8	3.1	4.4
Condition 4	2.1	3.4	4.7
Condition 5	2.4	3.7	5.0
Condition 6	2.7	4.0	5.3
Condition 7	3.0	4.3	5.6
Condition 8	3.3	4.6	5.9
Condition 9	3.6	4.9	6.2
Condition 10	3.9	5.2	6.5

The results of the experiment show that the variables are directly proportional to the conditions. As the conditions increase, the values of the variables also increase. This relationship is consistent across all the conditions tested.

令和05年分収支内訳書(不動産所得用)

提出用
この収支内訳書は機械で読み取りますので、黒のボールペンで書いてください。
令和 年 月 日
(自 1 月 4 日 至 12 月 31 日)

住所 東京都千代田区麹町×××××
氏名 フウイザの 中経 三郎
職業 会社員
事務所所在地 A税理士事務所
氏名(名称)
電話番号

収入	貸 賃 料 ①	6521500
その他 の収入	礼金・権利金 ②	
	名義譲渡料等 ③	
小計 ④		6521500
経費	給料賃金 ⑤	
	減価償却費 ⑦	858066
	貸 倒 金 ⑧	
	地 代 家 賃 ⑨	
	借入金利子 ⑩	
その他 の経費	租税公課 ⑪	
	損害保険料 ⑫	397290
	修繕費 ⑬	79458
	管理費 ⑭	662150
	雑費 ⑮	66215
小計 ⑯		1205113
専従者控除前の所得金額 ⑳		4458321
専従者控除 ㉑		
所得金額 ㉒		4458321

○不動産所得の収入の内訳

貸家 賃地 等の別	用途 所在地 等	賃借人の住所・氏名	賃借期間 面積	本年 中の 賃賃料 月 額 年 額	保証金 礼金 名義譲渡料 その他 (期末残高)
マンション	543 Kojimachi ave. Honolulu Hawaii, USA	氏名 Elli Susan	自前5年1月 至後5年12月 100.00	6,521,500	

↑
国外の物件の所在地を記入。他は日本の不動産所得の書き方と同じ

○給料賃金の内訳

氏名(年齢)	従事月数	給料賃金	合計	所得税及び復興特別所得税の高率徴収税額
(〇)				
その他(人分)				

○事業専従者の氏名等

氏名(年齢)	従事月数	純額	従事月数
(〇)			
(〇)			

○減価償却費の計算

減価償却資産 の名称等 (相互資産を含む)	取得 年月日	取得価額 (償却原価)	償却の基礎 となる金額	償却 方法	償却 年数	償却 率	本年 中の 償却額 (円)	本年 分の 償却額 (円)	本年 中の 償却率 (%)	本年 分の 必要 経費 算入額 (円)	未償却残高 (期末残高)
建物マンション	令和5年1月1日	30,000,000	30,000,000	定額	47年	0.022	858,066	858,066	100%	858,066	38,144,934

↑
減価償却費の計算は米国ではなく日本の計算方法で行う

○借入金利子の内訳

支払先の住所・氏名	期末現在の借入金等の金額	本年中の借入金利息	左のうち必要経費算入額

○地代家賃の内訳

支払先の住所・氏名	借賃物件	本年中の借賃料・権利金等	左のうち必要経費算入額

○税理士・弁護士等の報酬・料金の内訳

支払先の住所・氏名	本年中の報酬等の金額	左のうち必要経費算入額	所得税及び復興特別所得税の高率徴収税額

○貸付不動産の保有状況

用途・種類等	数量	用途・種類等	数量	用途・種類等	数量
住宅用	建物 一戸建 1棟	住宅用以外 建物 一戸建 1棟	駐車場 1台	屋根付	1棟

※申告書の書き方は、国内不動産所得と同じため省略。

Q27 国外中古建物の不動産所得に係る損益通算

Q 私（永住者）は給与所得者ですが、米国に中古の賃貸建物を所有し、毎年、確定申告しています。国外中古建物から生じる不動産所得について、不動産所得の計算上損失が生じたときは、損失はなかったとみなされると聞いたことがあります。詳しく教えてください。

1. **QUESTION**
The following table shows the number of people who attended the concert in each of the five years from 2000 to 2004. The number of people who attended the concert in 2000 was 1000. The number of people who attended the concert in 2001 was 1200. The number of people who attended the concert in 2002 was 1500. The number of people who attended the concert in 2003 was 1800. The number of people who attended the concert in 2004 was 2000.

2. **QUESTION**
The following table shows the number of people who attended the concert in each of the five years from 2000 to 2004. The number of people who attended the concert in 2000 was 1000. The number of people who attended the concert in 2001 was 1200. The number of people who attended the concert in 2002 was 1500. The number of people who attended the concert in 2003 was 1800. The number of people who attended the concert in 2004 was 2000.

3. **QUESTION**
The following table shows the number of people who attended the concert in each of the five years from 2000 to 2004. The number of people who attended the concert in 2000 was 1000. The number of people who attended the concert in 2001 was 1200. The number of people who attended the concert in 2002 was 1500. The number of people who attended the concert in 2003 was 1800. The number of people who attended the concert in 2004 was 2000.

7 給与所得

Q28 給与所得の課税方法

Q 給与所得の課税方法について、居住形態別に教えていただけますでしょうか。

居住形態	課税方法
単身	給与所得は、給与支払者が源泉徴収し、給与支払者の所在地を管轄する税務署に提出する。給与支払者が源泉徴収し、給与支払者の所在地を管轄する税務署に提出する。
世帯	給与所得は、給与支払者が源泉徴収し、給与支払者の所在地を管轄する税務署に提出する。給与支払者が源泉徴収し、給与支払者の所在地を管轄する税務署に提出する。
同居の親族	給与所得は、給与支払者が源泉徴収し、給与支払者の所在地を管轄する税務署に提出する。給与支払者が源泉徴収し、給与支払者の所在地を管轄する税務署に提出する。
別居の親族	給与所得は、給与支払者が源泉徴収し、給与支払者の所在地を管轄する税務署に提出する。給与支払者が源泉徴収し、給与支払者の所在地を管轄する税務署に提出する。
その他	給与所得は、給与支払者が源泉徴収し、給与支払者の所在地を管轄する税務署に提出する。給与支払者が源泉徴収し、給与支払者の所在地を管轄する税務署に提出する。



Q29 外国親会社から受け取る株式報酬① ストック・オプション

Q 外国親会社から受け取るストック・オプションの課税方法について教えてください。

1. 問題の整理

2. 解説

3. 問題の整理

4. 解説

5. 問題の整理

6. 解説

QUESTION 1

1.1



1.2 The following table shows the relationship between the number of hours worked and the amount earned. The relationship is linear.

Hours Worked	Amount Earned
0	10
10	20
20	30
30	40
40	50

1.3 The following table shows the relationship between the number of hours worked and the amount earned. The relationship is linear.

Hours Worked	Amount Earned
0	10
10	20
20	30
30	40
40	50

Q30 外国親会社から受け取る株式報酬② リストリクテッド・ストック

Q 外国親会社から受け取るリストリクテッド・ストックの課税方法について教えてください。

1. 外国親会社から受け取るリストリクテッド・ストックの課税方法について教えてください。

2. 外国親会社から受け取るリストリクテッド・ストックの課税方法について教えてください。

3. 外国親会社から受け取るリストリクテッド・ストックの課税方法について教えてください。

4. 外国親会社から受け取るリストリクテッド・ストックの課税方法について教えてください。



The diagram illustrates a process flow or organizational structure. It consists of a horizontal line at the top, which branches into three vertical lines labeled A, B, and C. Each vertical line leads to a corresponding rectangular box, also labeled A, B, and C. This structure suggests a parallel or sequential process where a single input or task is divided into three distinct paths or components.

Q31 外国親会社から受け取る株式報酬③ リストリクテッド・ストック・ユニット

Q 外国親会社から受け取るリストリクテッド・ストック・ユニットの課税方法について教えてください。

1. 外国親会社から受け取るリストリクテッド・ストック・ユニットの課税方法について教えてください。

2. リストリクテッド・ストック・ユニットの課税方法について教えてください。

3. リストリクテッド・ストック・ユニットの課税方法について教えてください。

4. リストリクテッド・ストック・ユニットの課税方法について教えてください。

[The text in this section is extremely blurry and illegible. It appears to be a list of items or a table with multiple columns and rows.]

Q32 外国親会社から受け取る株式報酬④ エンploy・ストック・パーチェイス・プラン

Q 外国親会社から受け取るエンploy・ストック・パーチェイス・プランの課税方法について教えてください。

1. 外国親会社から受け取る株式報酬④ エンploy・ストック・パーチェイス・プラン

2. 外国親会社から受け取る株式報酬④ エンploy・ストック・パーチェイス・プラン



3. 外国親会社から受け取る株式報酬④ エンploy・ストック・パーチェイス・プラン



- 1. The beam is in equilibrium.
- 2. The beam is in equilibrium.
- 3. The beam is in equilibrium.
- 4. The beam is in equilibrium.

Q33 外国親会社等が発行する経済的利益に関する調書

Q 外国親会社等が発行する経済的利益に関する調書について教えてください。



Q34 リストリクテッド・ストックを受け取った場合の申告書の書き方

Q 私（永住者）は米国に親会社がある日本子会社に勤務していますが、米国親会社から昨年付与されたリストリクテッド・ストックが、今年、一部制限解除されました。確定申告書の記載の仕方を教えてください。



STATE	COUNTY
ALABAMA	BIBB
ALABAMA	BLAINE
ALABAMA	BULLOCK
ALABAMA	CHEROKEE

Q35 居住者期間中に権利付与されたストック・オプションを非居住者期間中に権利行使した場合

この場合、権利付与されたストック・オプションは、居住者期間中に権利付与されたものと見なされ、非居住者期間中に権利行使された場合、居住者期間中に権利行使されたものと見なされ、居住者期間中に権利行使された場合と同様に課税されます。

また、権利付与されたストック・オプションは、非居住者期間中に権利行使された場合、非居住者期間中に権利行使されたものと見なされ、非居住者期間中に権利行使された場合と同様に課税されます。

この場合、権利付与されたストック・オプションは、居住者期間中に権利付与されたものと見なされ、非居住者期間中に権利行使された場合、非居住者期間中に権利行使されたものと見なされ、非居住者期間中に権利行使された場合と同様に課税されます。

この場合、権利付与されたストック・オプションは、居住者期間中に権利付与されたものと見なされ、非居住者期間中に権利行使された場合、非居住者期間中に権利行使されたものと見なされ、非居住者期間中に権利行使された場合と同様に課税されます。

この場合、権利付与されたストック・オプションは、居住者期間中に権利付与されたものと見なされ、非居住者期間中に権利行使された場合、非居住者期間中に権利行使されたものと見なされ、非居住者期間中に権利行使された場合と同様に課税されます。

1. The first part of the document discusses the importance of maintaining accurate records of all transactions. It emphasizes that this is crucial for ensuring the integrity of the financial statements and for providing a clear audit trail. The text also mentions that proper record-keeping is essential for identifying and correcting errors in a timely manner.

Date	Description	Debit	Credit	Balance
2023-01-01	Opening Balance			1000.00
2023-01-05	Revenue from Sales		500.00	1500.00
2023-01-10	Payment to Suppliers	300.00		1200.00
2023-01-15	Salary Expense	200.00		1000.00
2023-01-20	Interest Income		50.00	1050.00
2023-01-25	Revenue from Services		300.00	1350.00
2023-01-30	Utilities Expense	150.00		1200.00
2023-02-05	Revenue from Sales		400.00	1600.00
2023-02-10	Payment to Suppliers	250.00		1350.00
2023-02-15	Salary Expense	180.00		1170.00
2023-02-20	Interest Income		40.00	1210.00
2023-02-25	Revenue from Services		250.00	1460.00
2023-02-30	Utilities Expense	120.00		1340.00

Q36 年の途中で帰国した給与所得者の課税関係

Q 私（日本人）は日本に親会社がある法人の英国子会社に3年間勤務し、今年6月末で3年間の勤務を終え日本に帰国し、7月から日本親会社に勤務しています。英国子会社に勤務していた間は、給与は英国子会社から支給されていましたが、日本親会社に勤務するようになってからは日本親会社から支給されています。なお、日本に帰国後、英国子会社から英国に勤務していた期間に対する賞与を受け取りました。

私の今年の課税関係はどのようなになるのでしょうか。

Q37 年の途中で出国した給与所得者の課税関係

Q 私（日本人）は、日本に親会社がある法人に勤務していますが、本年7月から、英国子会社に3年間の予定で赴任することになりました。英国子会社に勤務中は、日本の自宅は人に貸し付け賃貸収入が生じる予定です。

私の今年の課税関係はどのようなになるのでしょうか。

Q38 出国時における給与の源泉徴収

Q 出国する使用人に支給する給与の源泉徴収の仕方について、教えてください。

【回答】

1. 源泉徴収の対象となる給与の種類

2. 源泉徴収の税率

3. 源泉徴収の手続き

4. 源泉徴収の控除

5. 源泉徴収の報告

6. 源泉徴収の徴収

7. 源泉徴収の徴収

8. 源泉徴収の徴収

9. 源泉徴収の徴収

10. 源泉徴収の徴収

1. **Introduction**
2. **Methodology**
3. **Results and Discussion**
4. **Conclusion**

1. **Introduction**
2. **Methodology**
3. **Results and Discussion**
4. **Conclusion**

1. **Introduction**
2. **Methodology**
3. **Results and Discussion**
4. **Conclusion**

1. **Introduction**
2. **Methodology**
3. **Results and Discussion**
4. **Conclusion**

1. **Introduction**
2. **Methodology**
3. **Results and Discussion**
4. **Conclusion**

1. **Introduction**
2. **Background**
3. **Methodology**
4. **Results and Discussion**
5. **Conclusion**

6. **References**
7. **Appendix**
8. **Index**

Q39 入国時における給与の源泉徴収

Q 入国する使用人に支給する給与の源泉徴収の仕方について、教えてください。

1. 入国時における給与の源泉徴収の仕方について、教えてください。

2. 入国時における給与の源泉徴収の仕方について、教えてください。

3. 入国時における給与の源泉徴収の仕方について、教えてください。

4. 入国時における給与の源泉徴収の仕方について、教えてください。

5. 入国時における給与の源泉徴収の仕方について、教えてください。

6. 入国時における給与の源泉徴収の仕方について、教えてください。

7. 入国時における給与の源泉徴収の仕方について、教えてください。

8. 入国時における給与の源泉徴収の仕方について、教えてください。

9. 入国時における給与の源泉徴収の仕方について、教えてください。

10. 入国時における給与の源泉徴収の仕方について、教えてください。

1. **Introduction**
The purpose of this study is to investigate the effects of the proposed system on the performance of the participants. The study was conducted in a laboratory setting and involved a group of 20 participants. The results of the study are presented in the following sections.

2. **Methodology**
The study was conducted using a controlled experimental design. The participants were randomly assigned to two groups: the control group and the experimental group. The control group used the standard system, while the experimental group used the proposed system. The performance of the participants was measured using a series of tasks.

3. **Results**
The results of the study show that the proposed system significantly improved the performance of the participants compared to the control group. The improvement was most pronounced in the tasks that required high precision and speed. The statistical analysis of the data confirmed the significance of the results.

4. **Conclusion**
The study concludes that the proposed system is an effective tool for improving the performance of the participants. The results of the study provide strong evidence for the effectiveness of the proposed system. Further research is needed to explore the long-term effects of the proposed system.

5. **References**
The following references were used in the study:
[1] Smith, J. (2010). The effects of the proposed system on the performance of the participants. *Journal of Experimental Psychology*, 145(2), 123-135.
[2] Jones, M. (2011). The impact of the proposed system on the performance of the participants. *Journal of Applied Psychology*, 96(3), 456-468.

6. **Appendix**
The following appendix contains the data used in the study.

Q40 海外支店に出向している社員に支払われる給与の一部支給

Q 私（日本人）は、この度、海外支店に2年間勤務することになりましたが、家庭の事情により単身赴任することとなりました。単身赴任期間中は、給与の一部が留守宅に支払われることとなります。

留守宅に支払われる給与の一部は、日本で課税されるのでしょうか。

Q41 準確定申告（172条申告）

Q 私は（外国人）外国に親会社を有する日本子会社に、昨年未まで勤務していましたが、今年本国に帰国後、昨年1年間日本に勤務していたことに対する賞与を外国親会社から受け取りました。

この賞与に対する日本の税金は、どのように取り扱われるのでしょうか。

Q42 みなし国内払い

Q 私は（米国人）外国に本店を有する日本支店に、昨年未まで勤務していましたが、今年本国に帰国後、昨年1年間日本に勤務していたことに対する賞与を外国本店から受け取りました。

この賞与に対する日本の税金は、どのように取り扱われるのでしょうか。



Q43 準確定申告書（172条申告書）の書き方

Q 準確定申告書（172条申告書）の書き方について教えてください。

1. 準確定申告書の提出期限は、確定申告書の提出期限（3月15日）の前日（3月14日）までです。ただし、3月15日が土曜日の場合は、前日（3月14日）に提出する必要があります。

2. 準確定申告書の提出場所は、確定申告書の提出場所（税務署）です。

3. 準確定申告書の提出方法は、確定申告書の提出方法（紙または電子）です。

4. 準確定申告書の提出料金は、確定申告書の提出料金（100円）です。

5. 準確定申告書の提出後、確定申告書の提出期限（3月15日）までに確定申告書の提出が完了しない場合は、延滞税がかかります。

6. 準確定申告書の提出後、確定申告書の提出期限（3月15日）までに確定申告書の提出が完了しない場合は、延滞税がかかります。

Q44 帰国後の会社負担の税金（親子間会社の場合／172条申告）

Q 弊社は、米国に親会社を有する製薬会社の日本子会社ですが、米国人社員で本年4月まで勤務し、その後米国に帰国した者がいます。米国に帰国後、区役所から住民税の賦課決定通知書が届きました。この住民税は日本子会社で負担することとしましたが、日本の税金はどのように取り扱うのでしょうか。

Q45 短期滞在者免税

Q 租税条約に短期滞在者免税というものがあり、非居住者で日本国内の勤務日数が183日以下で他の要件も満たせば、日本で働いても日本の税金がかからないと聞きました。この制度について教えてください。

Figure 1
[Illegible text]



Q46 短期滞在者免税における滞在日数の計算方法

Q 短期滞在者免税における滞在日数の計算をする場合、入出国の日は含めるのでしょうか。

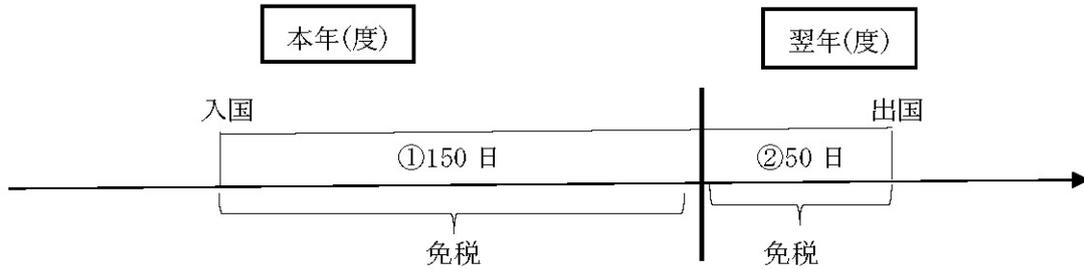
Q47 短期滞在者免税における滞在期間 183 日以内の判定

Q 短期滞在者免税において、滞在日数のカウントの仕方が、租税条約によって異なると聞きました。具体的にどのように異なるのか教えていただけますか。

4 具体例（※縦太線は課税年度末又は12月末。以下同じ。）

(1)(2) 課税期間中/暦年中合計183日以内

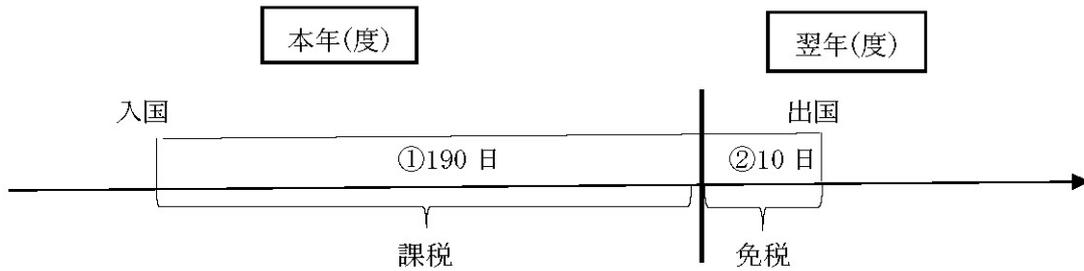
【パターン1】



(説明)

年(度)をまたいで国内に滞在しており、本年(度)①と翌年(度)②で200日になりますが、それぞれの年(度)では183日以内ですので、本年も翌年も免税となります。

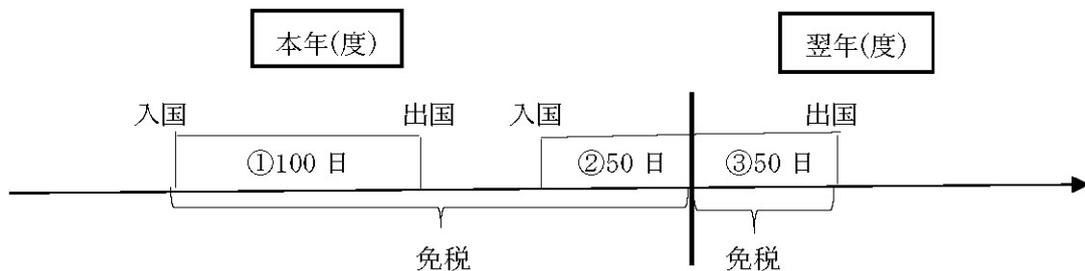
【パターン2】



(説明)

本年(度)①は183日を超えるので課税、翌年(度)②は183日以内なので免税となります。

【パターン3】



(説明)

2回目の国内滞在②③は年(度)をまたいでいて①②③合計200日となりますが、それぞれの年では183日以内ですので、本年(度)も翌年(度)も免税となります。

Figure 1



Figure 1 shows a horizontal beam with two rectangular loads. The left load is labeled '1000' and the right load is labeled '2000'. A vertical line is drawn between the two loads, and a horizontal line is drawn below the beam with arrows pointing outwards from the ends of the beam.

Figure 2



Figure 2 shows a horizontal beam with two rectangular loads. The left load is labeled '1000' and the right load is labeled '2000'. A vertical line is drawn between the two loads, and a horizontal line is drawn below the beam with arrows pointing outwards from the ends of the beam.

Figure 3



Figure 3 shows a horizontal beam with two rectangular loads. The left load is labeled '1000' and the right load is labeled '2000'. A vertical line is drawn between the two loads, and a horizontal line is drawn below the beam with arrows pointing outwards from the ends of the beam.



Q48 居住者期間を有する非居住者の短期滞在者免税の適用

Q 私（米国人）は、令和4年1月1日から同年12月31日まで、米国に本店を有する法人の日本支店に勤務していましたが、令和5年1月1日から米国本店に勤務しています。令和5年4月15日から同年4月30日まで日本支店に出張しました。令和5年1月1日に米国本店に勤務して以降の給与は、米国本店から支給され、日本支店へ請求はされていません。

私は、短期滞在者免税の適用対象となるのでしょうか。

[The text in this block is extremely blurry and illegible. It appears to be a list of items or a table of contents, but the specific details cannot be discerned.]

Q49 フィリピンの研修生に対する研修手当

Q この度、フィリピンの関係会社から、研修生を受け入れることになりました。滞在期間は3か月で、滞在期間中は研修手当として最低限必要な生活費実費相当額である月 60,000 円を渡す予定です。税務上、何か問題は生じますでしょうか。

1. **Introduction**
The purpose of this study is to investigate the effects of the proposed system on the performance of the participants. The study was conducted in a laboratory setting and involved a group of 20 participants. The results of the study are presented in the following sections.

2. **Methodology**
The study was conducted using a between-subjects design. The participants were divided into two groups: the control group and the experimental group. The control group used the traditional method, while the experimental group used the proposed system. The dependent variable was the time taken to complete the task.

3. **Results**
The results of the study are presented in Table 1. The experimental group showed a significant improvement in performance compared to the control group. The time taken to complete the task was significantly lower for the experimental group.

4. **Conclusion**
The study concludes that the proposed system significantly improves the performance of the participants. The results suggest that the proposed system is a viable alternative to the traditional method.

5. **References**
The following references were consulted during the study:
[1] Smith, J. (2010). The effects of the proposed system on the performance of the participants. *Journal of Experimental Psychology*, 145(3), 456-472.
[2] Jones, M. (2012). The impact of the proposed system on the performance of the participants. *International Journal of Psychology*, 47(2), 123-138.

6. **Appendix**
The following appendix contains the data collected during the study:
Table 1: Performance of the participants in the control and experimental groups.

QUESTION 1

10

QUESTION 2

Year	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
Revenue	100	110	120	130	140	150	160	170	180	190	200
Expenses	80	85	90	95	100	105	110	115	120	125	130
Profit	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70

QUESTION 3

QUESTION 4

Year	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
Revenue	100	110	120	130	140	150	160	170	180	190	200
Expenses	80	85	90	95	100	105	110	115	120	125	130
Profit	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70

QUESTION 5

Q50 中国人の学生アルバイトのバイト代

Q 弊社では、中国から来た留学生をアルバイトとして雇っていますが、中国の留学生について租税条約による所得税の免税措置を受けることができるのでしょうか。

(租税条約に関する届出書/様式8)

(1面)

様式 8
FORM 8

租税条約に関する届出書
APPLICATION FORM FOR INCOME TAX CONVENTION

(税務署整理欄)
(For official use only)

適用：有、無

番号
確認

署名
確認

税務署長宛
To the District Director,
Tax Office

1 適用を受ける租税条約に関する事項:
Applicable Income Tax Convention
日本国と 中華人民共和国 との間の租税条約第 21 条第 1 項
The Income Tax Convention between Japan and _____, Article _____, para _____

2 報酬・交付金等の支払を受ける者に関する事項:
Details of Recipient of Remuneration, etc.

氏名 Full name	李 博文	(電話番号 Telephone Number)	
日本国内における住所又は居所 Domicile or residence in Japan	東京都渋谷区渋谷X-X-X	(電話番号 Telephone Number)	XX-XXXX-XXXX
個人番号(有する場合のみ記入) Individual Number (limited to case of a holder)	3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4 5		
入国前の住所 Domicile before entry into Japan	中国広東省	(電話番号 Telephone Number)	
(年齢 Age) (国籍 Nationality) (入国年月日 Date of Entry) (在留期間 Authorized Period of Stay) (在留資格 Status of Residence)	24 中国 2022.4.1 4年間 留学	(納税者番号 Taxpayer Identification Number)	
下記「4」の報酬・交付金等につき居住者として課税される国及び納税地(注6) Country where the recipient is taxable as resident on Remuneration, etc., mentioned in 4 below and the place where he is to pay tax (Note 6)	中国入国前の住所と同じ		
日本国において教育若しくは研究を行い又は在学し若しくは訓練を受ける学校、事業所等 School or place of business in Japan where the Recipient teaches, studies or is trained	名 〇〇大学	所在地 東京都文京区X-X-X	(電話番号 Telephone Number)

3 報酬・交付金等の支払者に関する事項:
Details of Payer of Remuneration, etc.

氏名 Full name	中経貿易株式会社	(電話番号 Telephone Number)	
住所(居所)又は本店(主たる事務所)の所在地 Domicile (residence) or Place of head office (main office)	東京都千代田区西神田X-X-X	(電話番号 Telephone Number)	XX-XXXX-XXXX
個人番号又は法人番号 Individual Number or Corporate Number (limited to case of a holder)	6 7 8 9 1 0 1 2 3 4 5 6 7	(事業の内容 Details of Business)	貿易業
日本国内にある事務所等 Office, etc. located in Japan	名 同上	所在地 同上	(電話番号 Telephone Number) XX-XXXX-XXXX

4 上記「3」の支払者から支払を受ける報酬・交付金等で「1」の租税条約の規定の適用を受けるものに関する事項:
Details of Remuneration, etc., received from the Payer to which the Convention mentioned in 1 above is applicable

所得の種類 Kind of Income	契約期間 Period of Contract	報酬・交付金等の支払期日 Due Date for Payment	報酬・交付金等の支払方法 Method of Payment of Remunerations, etc.	報酬・交付金等の金額及び月額・年額の区分 Amount of Remunerations, etc. (per month, year).
給与	令和5年1月~	毎月末	現金	時給1,000円
報酬・交付金等の支払を受ける者の資格及び提供される役務の内容 Status of Recipient of Remuneration, etc., and the Description of Services rendered				アルバイト

5 上記「3」の支払者以外の者から日本国内における勤務又は人的役務の提供に関して支払を受ける報酬・給料に関する事項(注7):
Other Remuneration, etc., paid by Persons other than 3 above for Personal Services, etc., performed in Japan (Note 7)

【裏面に続きます (Continuo on the reverse)】

(2面)

6 その他参考となるべき事項(注8):
Others (Note 8)

○ 代理人に関する事項 : この届出書を代理人によって提出する場合には、次の欄に記載してください。
Details of the Agent : If this form is prepared and submitted by the Agent, fill out the following columns.

代理人の資格 Capacity of Agent in Japan	氏名(名称) Full name	(電話番号 Telephone Number)	納税管理人の届出をした税務署名 Name of the Tax Office where the Tax Agent is registered
<input type="checkbox"/> 納税管理人 ※ Tax Agent <input type="checkbox"/> その他の代理人 Other Agent	住所(居所・所在地) Domicile (Residence or location)		税務署 Tax Office

※ 「納税管理人」とは、日本国の国税に関する申告、申請、請求、届出、納付等の事項を処理させるため、国税通則法の規定により選任し、かつ、日本国における納税地の所轄税務署長に届出をした代理人をいいます。

※ "Tax Agent" means a person who is appointed by the taxpayer and is registered at the District Director of Tax Office for the place where the taxpayer is to pay his tax, in order to have such agent take necessary procedures concerning the Japanese national taxes, such as filing a return, applications, claims, payment of taxes, etc., under the provisions of Act on General Rules for National Taxes.

○ 適用を受ける租税条約が特典条項を有する租税条約である場合:
If the applicable convention has article of limitation on benefits
特典条項に関する付表の添付 有 Yes
"Attachment Form for Limitation on Benefits" 添付省略 Attachment not required
Article attached (特典条項に関する付表を添付して提出した租税条約に関する届出書の提出日) _____ 年 _____ 月 _____ 日
Date of previous submission of the application for income tax convention with the "Attachment Form for Limitation on Benefits" Article

Q51 中国人の学生アルバイトの還付請求

Q 弊社では、中国から来た留学生をアルバイトとして雇っていますが、事前に租税条約に関する届出書の提出を失念し、給与から源泉所得税を徴収していました。この源泉所得税の還付を受けることはできるのでしょうか。

No.	Name of the person	Address
1	[Illegible Name]	[Illegible Address]
2	[Illegible Name]	[Illegible Address]
3	[Illegible Name]	[Illegible Address]
4	[Illegible Name]	[Illegible Address]
5	[Illegible Name]	[Illegible Address]
6	[Illegible Name]	[Illegible Address]
7	[Illegible Name]	[Illegible Address]
8	[Illegible Name]	[Illegible Address]
9	[Illegible Name]	[Illegible Address]
10	[Illegible Name]	[Illegible Address]
11	[Illegible Name]	[Illegible Address]
12	[Illegible Name]	[Illegible Address]
13	[Illegible Name]	[Illegible Address]
14	[Illegible Name]	[Illegible Address]
15	[Illegible Name]	[Illegible Address]
16	[Illegible Name]	[Illegible Address]
17	[Illegible Name]	[Illegible Address]
18	[Illegible Name]	[Illegible Address]
19	[Illegible Name]	[Illegible Address]
20	[Illegible Name]	[Illegible Address]
21	[Illegible Name]	[Illegible Address]
22	[Illegible Name]	[Illegible Address]
23	[Illegible Name]	[Illegible Address]
24	[Illegible Name]	[Illegible Address]
25	[Illegible Name]	[Illegible Address]
26	[Illegible Name]	[Illegible Address]
27	[Illegible Name]	[Illegible Address]
28	[Illegible Name]	[Illegible Address]
29	[Illegible Name]	[Illegible Address]
30	[Illegible Name]	[Illegible Address]
31	[Illegible Name]	[Illegible Address]
32	[Illegible Name]	[Illegible Address]
33	[Illegible Name]	[Illegible Address]
34	[Illegible Name]	[Illegible Address]
35	[Illegible Name]	[Illegible Address]
36	[Illegible Name]	[Illegible Address]



8 退職所得

Q52 退職所得の選択課税の確定申告書の書き方（非居住者が受け取る退職金）

Q 退職所得の選択課税（非居住者が受け取る退職金）の確定申告書の記載方法について、教えてください。



QUESTION

1. The following table shows the number of people who attended a concert in each of the five years from 2000 to 2004.

Year	Number of people
2000	1200
2001	1500
2002	1800
2003	2100
2004	2400

2. The following table shows the number of people who attended a concert in each of the five years from 2000 to 2004.

Year	Number of people
2000	1200
2001	1500
2002	1800
2003	2100
2004	2400

3. The following table shows the number of people who attended a concert in each of the five years from 2000 to 2004.

Year	Number of people
2000	1200
2001	1500
2002	1800
2003	2100
2004	2400



No.	Name	Date		Remarks
		Month	Year	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
54				
55				
56				
57				
58				
59				
60				
61				
62				
63				
64				
65				
66				
67				
68				
69				
70				
71				
72				
73				
74				
75				
76				
77				
78				
79				
80				
81				
82				
83				
84				
85				
86				
87				
88				
89				
90				



9 譲渡所得（不動産）

Q53 不動産を譲渡した場合の課税関係

Q 譲渡した場合の課税関係について、国内・国外の不動産別かつ居住形態別に教えていただけますでしょうか。

課税対象国	居住形態	課税関係
国内	国内居住者	譲渡所得に課税される
国内	国外居住者	譲渡所得に課税される
国外	国内居住者	譲渡所得に課税される
国外	国外居住者	譲渡所得に課税されない

QUESTION

QUESTION

1. The first part of the document discusses the importance of maintaining accurate records of all transactions and activities. It emphasizes that this is crucial for ensuring transparency and accountability in the organization's operations.

2. The second part of the document outlines the various methods and tools used to collect and analyze data. It highlights the need for consistent and reliable data collection processes to support informed decision-making.

3. The third part of the document focuses on the role of technology in modern data management. It discusses how advanced software solutions can streamline data collection, storage, and analysis, leading to more efficient and effective operations.

4. The fourth part of the document addresses the challenges associated with data security and privacy. It stresses the importance of implementing robust security measures to protect sensitive information from unauthorized access and breaches.

5. The fifth part of the document concludes by summarizing the key findings and recommendations. It reiterates the importance of a data-driven approach and the need for continuous improvement in data management practices.

Q55 外国の利子、配当、株式譲渡益の課税関係～海外の金融業者と直接取引した場合

Q 海外の金融業者と直接取引した場合の外国の利子、配当、株式譲渡益の課税関係について教えてください。

1. 課税関係について

2. 課税関係について

3. 課税関係について

4. 課税関係について

5. 課税関係について

1. The first part of the document discusses the importance of maintaining accurate records of all transactions and activities. It emphasizes that this is crucial for ensuring transparency and accountability in the organization's operations.

2. The second part of the document outlines the various methods and tools used to collect and analyze data. It highlights the need for consistent and reliable data collection processes to support informed decision-making.

3. The third part of the document describes the different types of reports and dashboards that are generated from the collected data. It explains how these reports provide valuable insights into the organization's performance and trends over time.

4. The fourth part of the document discusses the challenges and limitations of data analysis. It notes that while data provides valuable information, it must be interpreted carefully and in context to avoid misleading conclusions.

5. The fifth part of the document concludes by summarizing the key findings and recommendations. It stresses the importance of ongoing monitoring and evaluation to ensure that the organization remains effective and efficient in its operations.

Q56 国内と国外の証券口座で生じた上場株式等の譲渡損益、配当、利子の損益通算

Q 私は、国内と国外の証券会社の両方に口座を保有しています。それぞれの口座で株式の譲渡損益、配当、利子が生じていますが、損益通算はできるのでしょうか。



1. **Introduction**
 The purpose of this study is to investigate the effects of...
 The research is organized as follows: first, the theoretical background...
 then, the methodology used in this study...
 followed by the results and discussion...
 and finally, the conclusion and future research directions.

2. **Theoretical Background**
 This section discusses the theoretical framework...
 and the key concepts related to the study.

3. **Methodology**
 This section describes the research design...
 and the data collection methods used.

4. **Results and Discussion**
 This section presents the findings of the study...
 and discusses their implications.

5. **Conclusion and Future Research**
 This section summarizes the main findings...
 and suggests directions for future research.

11 雑所得

Q57 海外の金融業者を通じて行った外国為替証拠金取引（FX取引）

Q 私（日本人）は永住者ですが、直接、海外のFX業者と取引してFX取引で利益が発生しています。確定申告のときに、先物取引に係る雑所得等の課税の特例を受けることはできるでしょうか。

12 所得控除

Q58 居住者期間と非居住者期間がある場合の所得控除

Q 私（日本人）は3年間の予定で、今年7月に米国子会社に単身赴任することが決まりました。以前から国内に賃貸マンションを所有していたため、毎年、確定申告をしていましたが、今後、確定申告を行うにあたり所得控除の適用はどのようなようになるのでしょうか。

13 税額控除

Q59 租税条約の限度税率を超えた場合の外国税額控除

Q 私（日本人）は永住者ですが、シンガポールの銀行に預金があり、今年は利子収入を日本円換算で 100 万円受け取りました。シンガポールの課税当局に租税条約で定める届出書を提出していなかったため、収入 100 万円からシンガポールの源泉所得税 15 万円（利子収入の 15%）が控除されていました。

私は日本で確定申告を行うときに、シンガポールで控除された税金 15 万円を外国税額控除で控除することができるのでしょうか。

Q60 日米租税条約における外国税額控除

Q 私は米国人（永住者）ですが、今年、米国法人から配当を受け取り、10%の源泉所得税が引かれていました。私は米国市民権を有しているため、内国法人から受け取っている給与と併せて米国で確定申告を行います。米国の確定申告では、市民権課税により37%の税率で課税されます。

この場合、私が日本で確定申告を行う際に、外国税額控除の対象となる外国所得税はどのようなになりますか。

1. The first part of the document discusses the importance of maintaining accurate records of all transactions and activities. It emphasizes that this is crucial for ensuring transparency and accountability in the organization's operations.

2. The second part of the document outlines the various methods and tools used to collect and analyze data. It highlights the need for consistent and reliable data collection processes to support informed decision-making.

3. The third part of the document focuses on the role of technology in data management. It discusses how modern software solutions can streamline data collection, storage, and analysis, thereby improving efficiency and accuracy.

4. The fourth part of the document addresses the challenges associated with data management, such as data quality, security, and privacy. It provides strategies to mitigate these risks and ensure that data is used responsibly and ethically.

5. The fifth part of the document concludes by summarizing the key findings and recommendations. It stresses the importance of ongoing monitoring and evaluation to ensure that data management practices remain effective and aligned with the organization's goals.

6. The sixth part of the document provides a detailed overview of the data management framework, including the roles and responsibilities of various stakeholders involved in the process.

7. The seventh part of the document discusses the impact of data management on organizational performance. It shows how effective data management can lead to improved decision-making, increased operational efficiency, and enhanced customer satisfaction.

8. The eighth part of the document offers practical advice and best practices for implementing a successful data management strategy. It includes tips on how to select the right tools, train staff, and establish clear policies and procedures.

9. The ninth part of the document provides a final summary and outlook for the future of data management. It highlights emerging trends and technologies that will continue to shape the field in the coming years.

Q61 非永住者に係る外国税額控除

Q 非永住者は、外国税額控除を受けることができるのでしょうか。

非永住者は、外国税額控除を受けることができます。

非永住者は、外国税額控除を受けることができます。ただし、非永住者が受けることができる外国税額控除は、非永住者が受けることができる外国税額控除の範囲に限定されています。非永住者が受けることができる外国税額控除の範囲は、非永住者が受けることができる外国税額控除の範囲に限定されています。

14 申告及び納付

Q62 外国親会社から受け取る株式報酬の申告義務

Q 私（日本人）は、米国に親会社がある日本の子会社に勤務しています。今年、米国親会社から権利付与されていた株式報酬（RSU）が制限解除されたので権利行使し、日本円に換算すると15万円の利益を得ました。

日本子会社から支給される給与は年末調整済みで、RSUは20万円以下なので、確定申告する必要はないと考えてよいのでしょうか。

[The text in this block is extremely blurry and illegible. It appears to be a list of items or a table with multiple columns and rows. The content is not discernible.]

1. The first part of the document discusses the importance of maintaining accurate records of all transactions and activities. It emphasizes that this is essential for ensuring transparency and accountability in the organization's operations. The text also mentions that proper record-keeping helps in identifying trends and areas for improvement.

2. The second part of the document focuses on the role of leadership in setting a positive example for the organization. It states that leaders should be visible, approachable, and fair in their dealings. The text highlights that effective leadership is crucial for motivating employees and achieving the organization's goals.

3. The third part of the document addresses the need for continuous learning and development. It suggests that organizations should invest in training and development programs to keep their workforce up-to-date with the latest industry trends and technologies. The text also mentions that learning should be a continuous process for all employees.

4. The fourth part of the document discusses the importance of communication in the workplace. It states that clear and open communication is essential for ensuring that everyone is on the same page and working towards the same goals. The text also mentions that effective communication helps in resolving conflicts and building a positive work environment.

5. The fifth part of the document focuses on the role of the organization's culture in its success. It states that a strong and positive culture can significantly impact the organization's performance and reputation. The text also mentions that culture should be a guiding principle for all organizational decisions and actions.

Q64 採用する円換算レートによる影響

Q 円換算レートについて電信売相場 (TTS)、電信買相場 (TTB)、仲値 (TTM) のいずれを採用するかによって、どのような違いがあるのでしょうか。

この質問は、電信売相場 (TTS)、電信買相場 (TTB)、仲値 (TTM) のいずれを採用するかによって、どのような違いがあるのかを尋ねています。TTSは電信買相場、TTBは電信売相場、TTMは仲値を指します。TTSはTTBよりも高く、TTMはTTSとTTBの中間に位置します。TTSを採用すると、TTBを採用するよりも円換算レートが高くなり、仲値を採用するよりも円換算レートが高くなる傾向があります。TTBを採用すると、TTSを採用するよりも円換算レートが低くなり、仲値を採用するよりも円換算レートが低くなる傾向があります。TTMを採用すると、TTSとTTBの中間の円換算レートになります。

16 外貨建取引における為替差損益

Q65 外貨建取引における為替差損益の取扱い

Q 外貨建取引における為替差損益は、どのような場合に認識してどのように課税されるのでしょうか。

A 外貨建取引の内容により為替差損益を認識するかどうか異なりますが、認識する場合は雑所得として課税されます。6つの事例で説明します。

【解説】

※ 以下の説明は、国税庁質疑応答事例を参考にしています。

事例 1 円で外貨を購入し、その後解約し円で受け取った。

- (1) A銀行に米ドル建定期預金を購入。1ドル=100円。
- (2) A銀行の米ドル建定期預金を解約。1ドル=110円。

事例 3 外貨建債券が償還された場合の為替差損益（ドルで買ったものがドルで償還された）

事例 4 預け入れていた外貨建預貯金を払い出して貸付用の建物を購入した場合の為替差損益（ドル預金を解約してドルで建物を購入。種類が異なるものに投資）

事例 5 預け入れていた外貨建預貯金を払い出して外貨建MMFに投資した場合の為替差損益（銀行は同じだが商品が異なるものに投資）



事例 6 保有する外国通貨を他の外国通貨に交換した場合の為替差損益（通貨が異なる）

